

## 15031: 特願 2016-023696

## マルチブレード草刈り装置

●刈り残しが発生し難く、操作性に優れる

## ①技術分野

本発明は、例えば、地面に沿って移動しながら草を刈り取るマルチブレード草刈り装置に関する。

## ②発明の背景と目的

草刈り装置で草刈りを行った後、刈り残した草を、例えば、人手で刈り取る必要が生じ、草刈り作業が煩雑になると共に、草刈りに要する時間も長くなって草刈りに要する費用が増大するという問題が生じている。

本発明はかかる事情に鑑みてなされたもので、草刈り幅が広く、刈り残しが発生し難く、操作性にも優れたマルチブレード草刈り装置を提供することを目的とする。

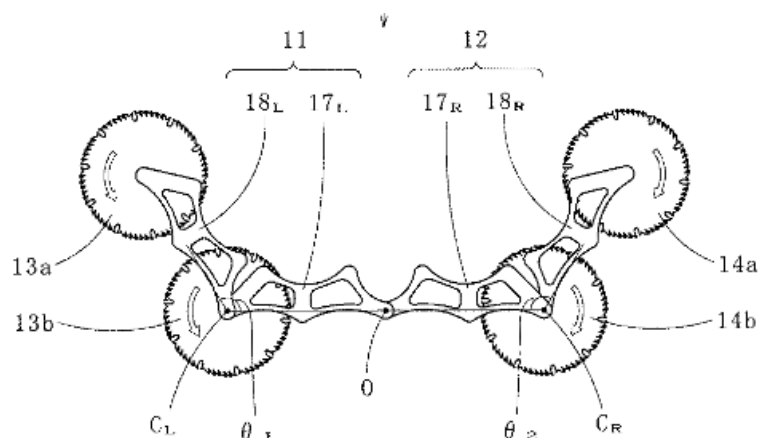
## ③発明の構成と効果

## 構成

回動可能な対となる左、右ブレードホルダー 11、12 と、左、右ブレードホルダー 11、12 の少なくとも先部にそれぞれ、回転可能かつ左、右ブレードホルダー 11、12 の回動時に近接又は隙間を有して交差可能に設けられた第 1、第 2 の左ブレード 13a、13b 及び第 1、第 2 の右ブレード 14a、14b と、第 1、第 2 の左ブレード 13a、13b 及び第 1、第 2 の右ブレード 14a、14b の回転駆動手段 15 とを有し、第 1、第 2 の左ブレード 13a、13b 及び第 1、第 2 の右ブレード 14a、14b は、左、右ブレードホルダー 11、12 が回動時に通過する各平面に対して、 $0$  を超え  $10$  度以下の範囲でそれぞれ傾斜可能に設けられ、第 1、第 2 の左ブレード 13a、13b の回転方向と第 1、第 2 の右ブレード 14a、14b の回転方向は逆である。

## 効果

本発明に係るマルチブレード草刈り装置においては、左、右ブレードホルダーを回動させることにより、左、右ブレードホルダーが回動する平面と平行又は交差する平面内で、左、右ブレードをそれぞれ往復移動させることができ、左、右ブレードが通過する範囲が拡大することにより左、右ブレードによる草刈り幅を広くすることができる。



国立大学法人

九州工業大学

イノベーション推進機構産学連携・URA領域

〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1-1

TEL093 (884) 3499 FAX093 (884) 3531

E-Mail: chizai@jimu.kyutech.ac.jp